

**2012年3月期 第2四半期  
決算説明会**

**株式会社ダスキン**

**2011年11月18日**



- 本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、戦略等の将来に関する記述が含まれております。
- これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や、内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績又は展開と大きく異なる可能性があります。
- 第2四半期決算短信11ページ[セグメント情報]の(注)2に記載の通り、セグメント利益の調整額には、従来通り「セグメント間取引消去」及び「全社費用」が含まれており、本資料においては「全社・消去」と表示しております。

## 決算概況

決算概況 .....	2
売上高の状況 .....	3
営業利益の状況 .....	5
経常利益の状況 .....	7
四半期純利益の状況 .....	9
連結貸借対照表の状況 .....	11

## セグメント別売上高と営業利益

セグメント別 ハイライト .....	13
セグメント別の概況	
クリーングループ .....	14
フードグループ .....	18
その他・全社 .....	22
その他〔海外事業〕 .....	23

## 公表予想との比較及び通期業績予想

第2四半期の公表予想と実績の比較 .....	26
2012年3月期 通期業績予想 .....	27
2012年3月期 セグメント別予想 .....	28

## ご参考

個別決算概況 .....	30
セグメント別お客様売上高 .....	31
事業別お客様売上高 .....	32
セグメント別事業概要 .....	33
ダストコントロール事業のビジネスモデル .....	35
セグメント区分の変更 .....	36

# 2012年3月期 第2四半期 決算概況

---



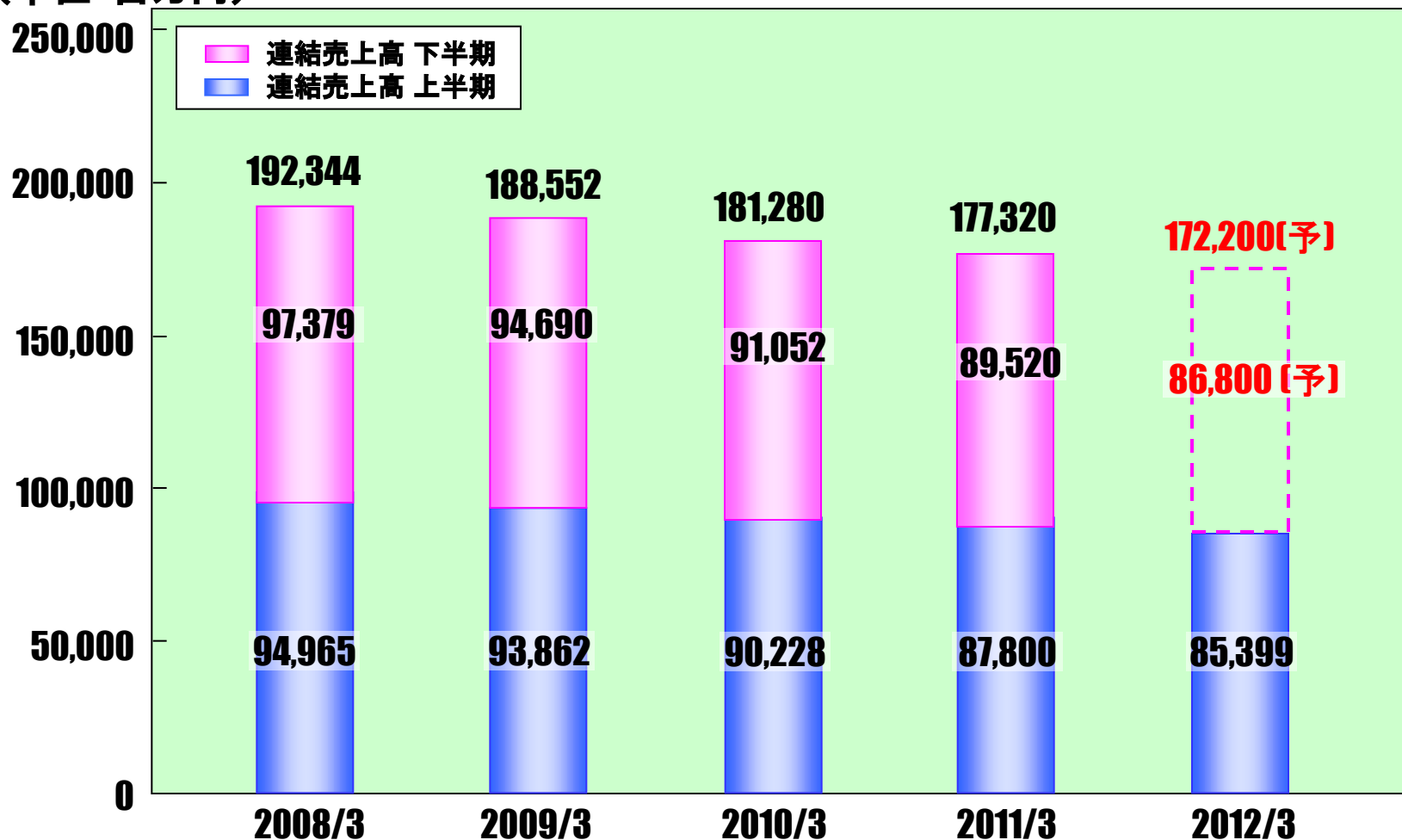
## 連結業績

(単位:百万円)

	2010/9月期 実績	2011/9月期 実績	前年同期比		(ご参考) 2011/3月期
			増減(額)	率(%)	
売上高	87,800	85,399	△2,400	△2.7	177,320
営業利益	5,155	4,238	△917	△17.8	10,937
売上高営業利益率(%)	(5.9)	(5.0)	(△0.9)	—	(6.2)
経常利益	6,036	5,332	△703	△11.7	12,613
売上高経常利益率(%)	(6.9)	(6.2)	(△0.6)	—	(7.1)
当期純利益	2,624	2,866	+241	+9.2	5,248
売上高当期純利益率(%)	(3.0)	(3.4)	(+0.4)	—	(3.0)

## ■連結売上高の推移

(単位:百万円)



## ■連結売上高のポイント

消費マインドの冷え込み等当社を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、  
全てのセグメントで減収

2011/9月期の連結売上高

**853億99百万円**

前年同期比  $\Delta 24$ 億円( $\Delta 2.7\%$ )

### セグメント別の前年同期比較

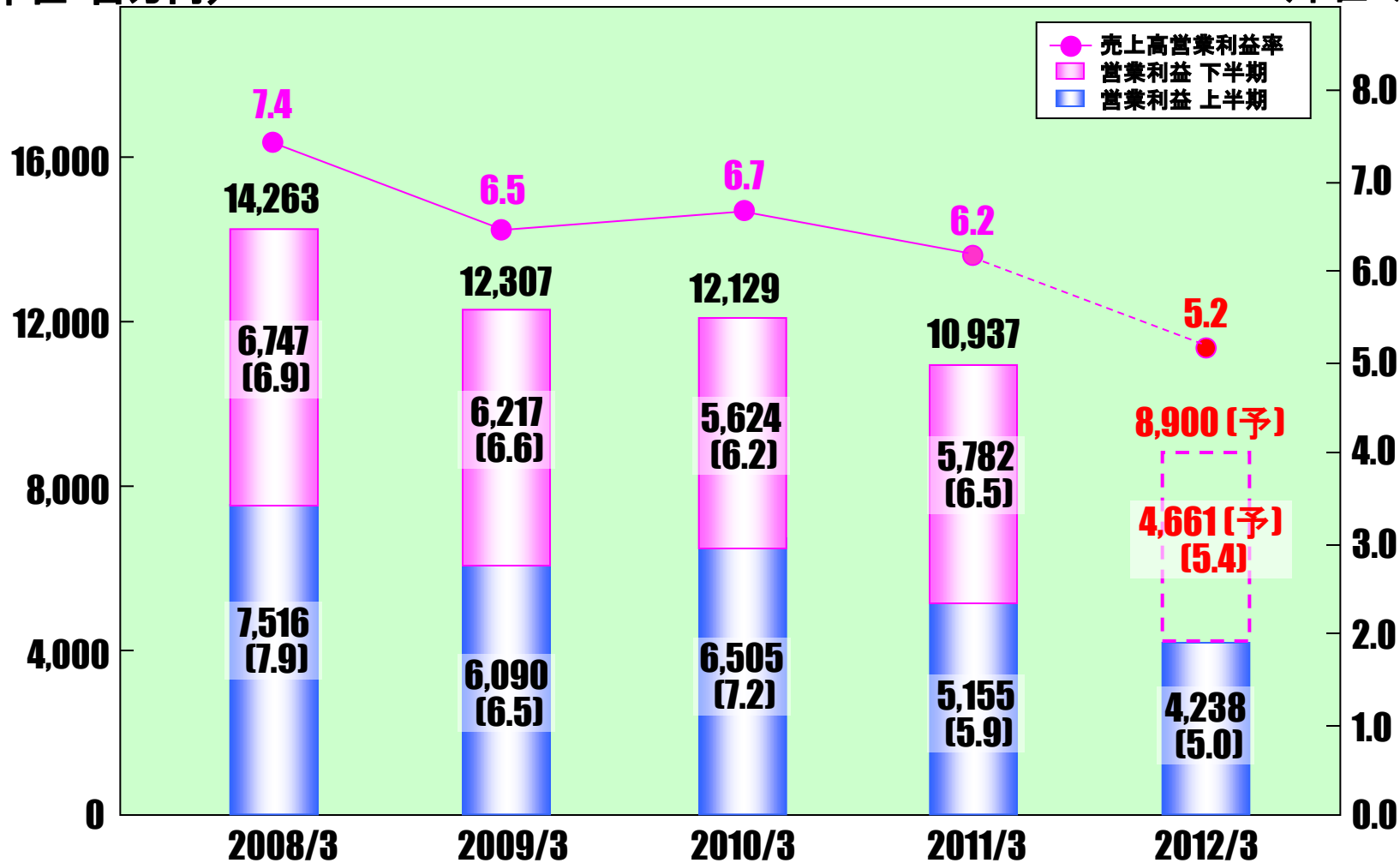
(単位:百万円)

	売上高	増減	
		額	率
クリーニンググループ	57,317	$\Delta 293$	$\Delta 0.5\%$
フードグループ	22,970	$\Delta 1,880$	$\Delta 7.6\%$
その他	5,111	$\Delta 226$	$\Delta 4.2\%$

# ■ 連結営業利益(率)の推移

(単位:百万円)

(単位:%)





## ■連結営業利益のポイント

2011/9月期の連結営業利益

42億38百万円

前年同期比  $\Delta$ 9億17百万円(  $\Delta$ 17.8%)

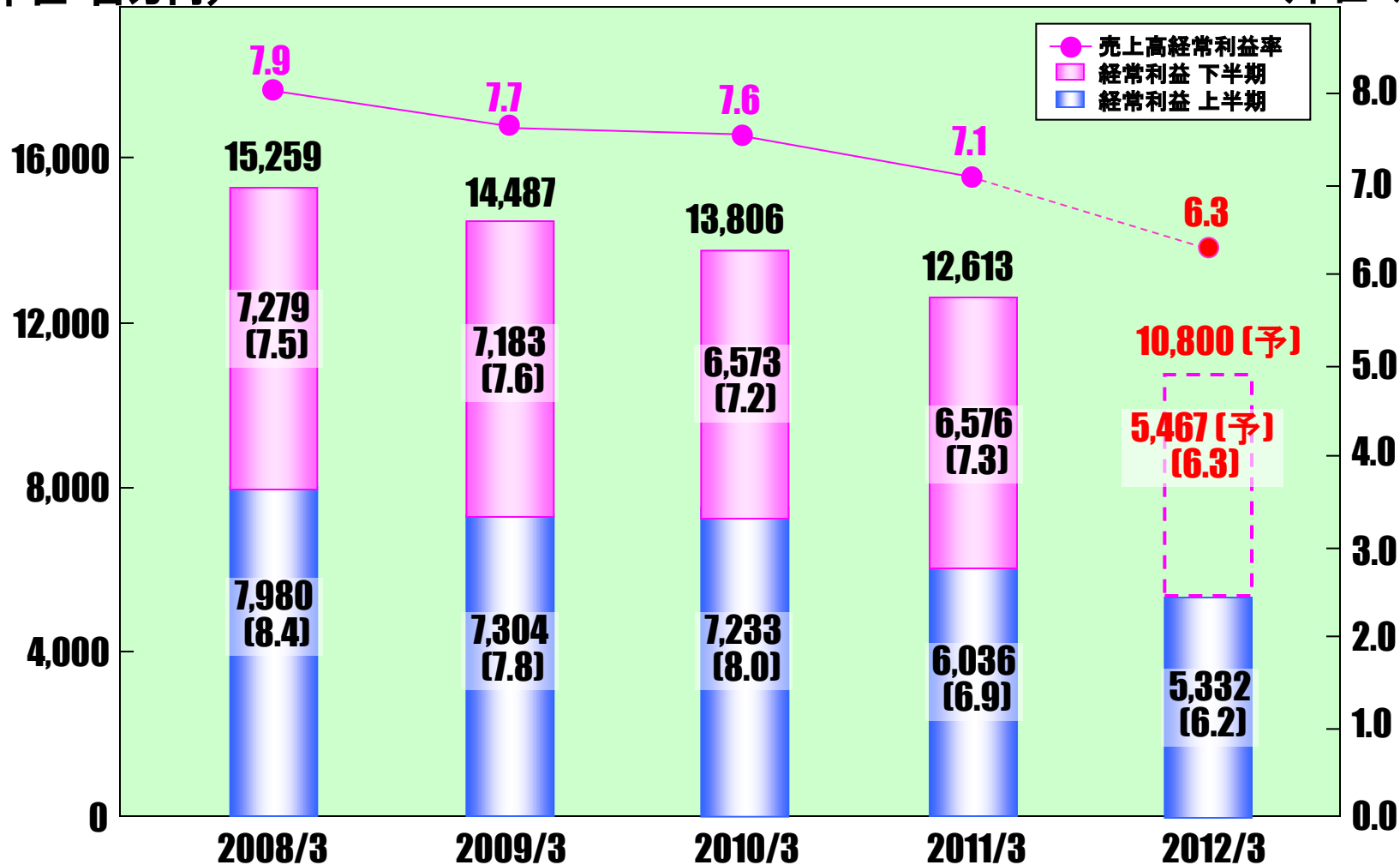
## 主な増減要因

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ①売上高減少に伴う営業利益の減少影響額   | 2億円  |
| ・売上の減少の影響             |      |
| 売上総利益の減少              | 11億円 |
| 経費の減少                 | 9億円  |
| ②原価率のアップによる営業利益の減少影響額 | 7億円  |
| ・新商品「LaLa」の資材投入       | 5億円  |
| ・ミスタードーナツ原材料価格UP      | 2億円  |
| ③経費率は変動無し             |      |

■連結経常利益(率)の推移

(単位:百万円)

(単位:%)



## ■連結経常利益のポイント

2011/9月期の連結経常利益

**53億32百万円** 前年同期比  $\Delta 7$ 億3百万円( $\Delta 11.7\%$ )

### 主な増減要因

- |           |     |
|-----------|-----|
| ①営業利益の減少  | 9億円 |
| ②営業外損益の改善 | 2億円 |
| ・金融収支の改善  | 1億円 |
| ・その他      | 1億円 |

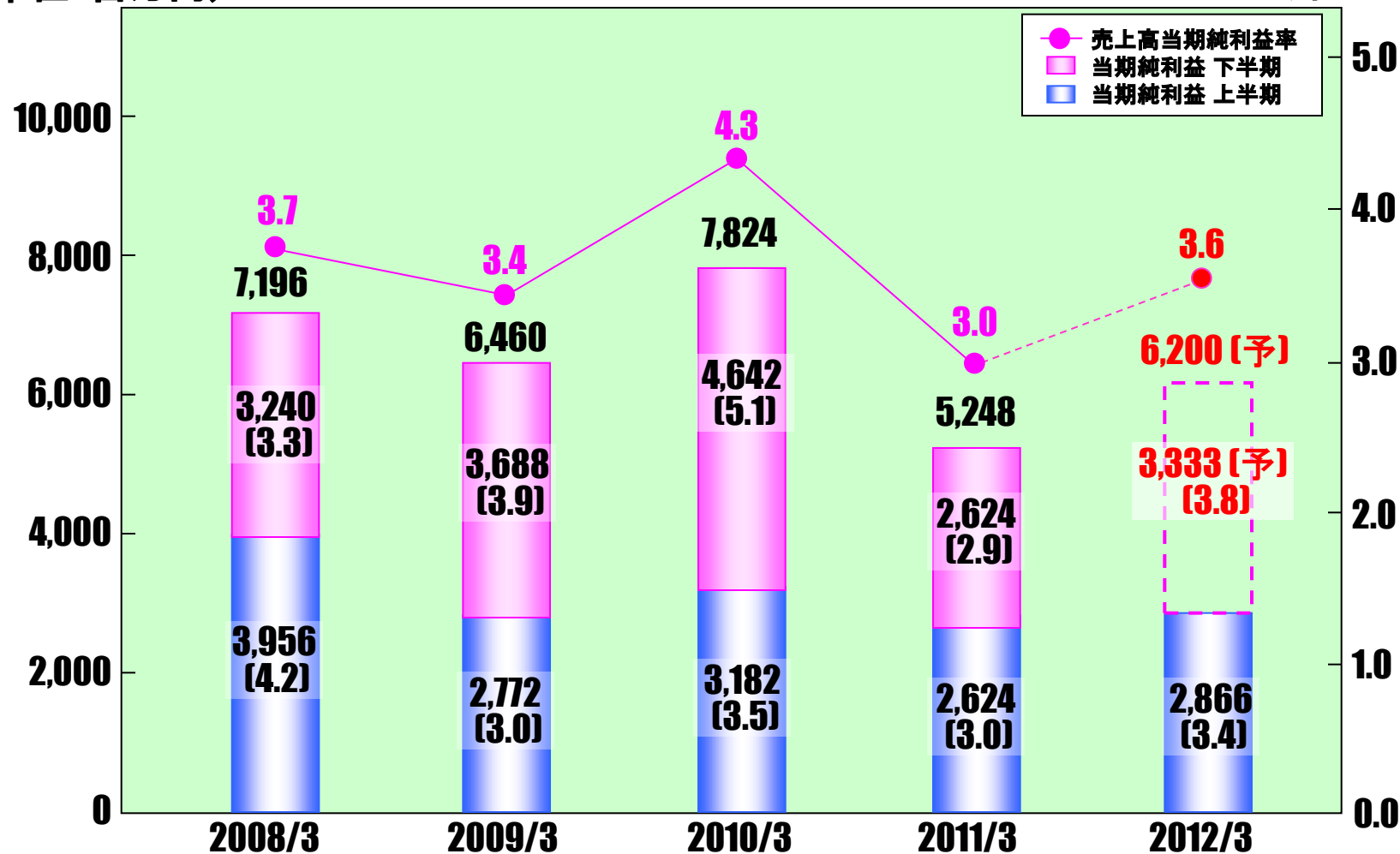
(単位:百万円)

	前期	当期	増減額
営業外収益	1,086	1,250	163
営業外損失	205	156	$\Delta 49$
営業外損益	880	1,094	213

■連結当期純利益(率)の推移

(単位:百万円)

(単位:%)



## ■連結四半期純利益のポイント

2011/9月期の連結四半期純利益

28億66百万円 前年同期比 +2億41百万円(+9.2%)

## 主な増減要因

① 税引前四半期純利益の増加		5億円
・経常利益の減少	7億円	
・特別損益の改善	12億円	
《改善要因》		
・投資有価証券評価損の減少	(8億円)	
・資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失の減少	(5億円)	
・投資有価証券売却益	(1億円)	
・その他	(1億円)	
《悪化要因》		
・災害による損失の発生	(3億円)	
② 税金費用の増加		3億円
・税引前純利益増加に伴う法人税等の増加	3億円	

(単位:百万円)

	2011/3月期	2011/9月期	前期末比 増減	主な増減要因
流動資産	60,364	57,012	△3,351	「現金及び預金」の減少 28億円 「受取手形及び売掛金」の減少 12億円 「有価証券」の増加 4億円 「商品及び製品」の増加 7億円 「繰延税金資産」の減少 4億円
有形・無形固定資産	60,168	60,242	73	—
投資その他資産	78,343	75,792	△2,551	「投資有価証券」の減少 24億円
資産合計	198,876	193,047	△5,829	—
流動・固定負債	50,311	45,693	△4,617	「買掛金」の減少 9億円 「未払法人税等」の減少 11億円 「災害損失引当金」の減少 7億円 「未払金」の減少 3億円 「長期未払金」の減少 1億円 「預り金」の減少 9億円 「退職給付引当金」の増加 5億円
純資産	148,565	147,353	△1,211	配当金 26億円 四半期純利益 29億円 「自己株式」の増加 14億円
負債純資産合計	198,876	193,047	△5,829	—
有利子負債	362	300	△62	関係会社の減少 62億円

# セグメント別売上高と営業利益



(単位:百万円)

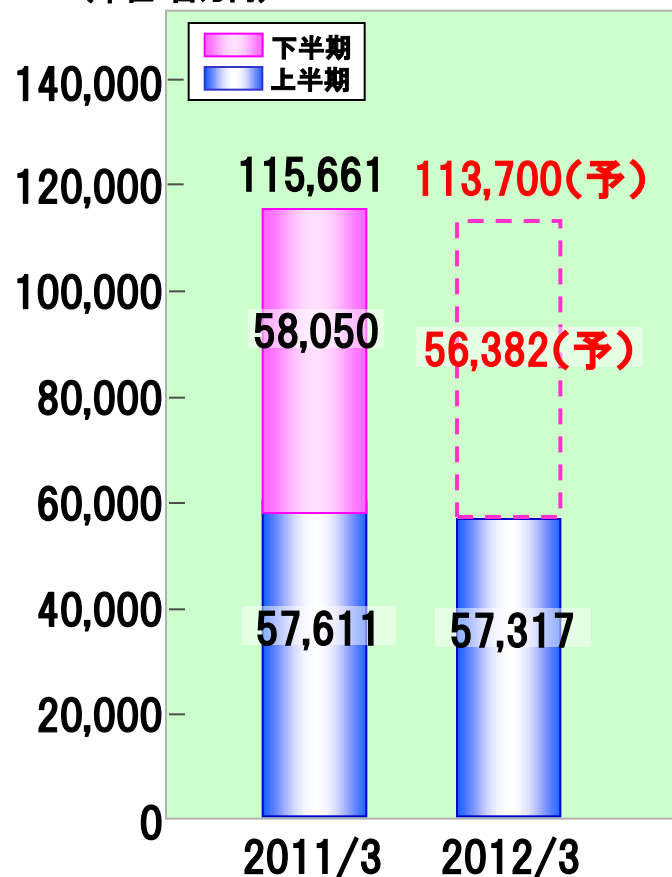
		2011/3月期 営業利益率(%)		2010/9月期 営業利益率(%)		2011/9月期 営業利益率(%)		前年同期比 増減率(%)	
クリーン グループ	売上高	115,661	—	57,611	—	57,317	—	△293	△0.5
	営業利益	13,619	11.8	7,032	12.2	7,019	12.2	△13	△0.2
フード グループ	売上高	51,112	—	24,850	—	22,970	—	△1,880	△7.6
	営業利益	4,418	8.6	1,666	6.7	716	3.1	△949	△57.0
その他	売上高	10,546	—	5,338	—	5,111	—	△226	△4.2
	営業利益	210	2.0	40	0.8	172	3.4	+131	+327.2
全社・消去	営業利益	△7,312	—	△3,584	—	△3,670	—	△86	—
連結合計	売上高	177,320	—	87,800	—	85,399	—	△2,400	△2.7
	営業利益	10,937	6.2	5,155	5.9	4,238	5.0	△917	△17.8



## 売上高

6ヵ月(4月～9月、10月～3月)

(単位:百万円)

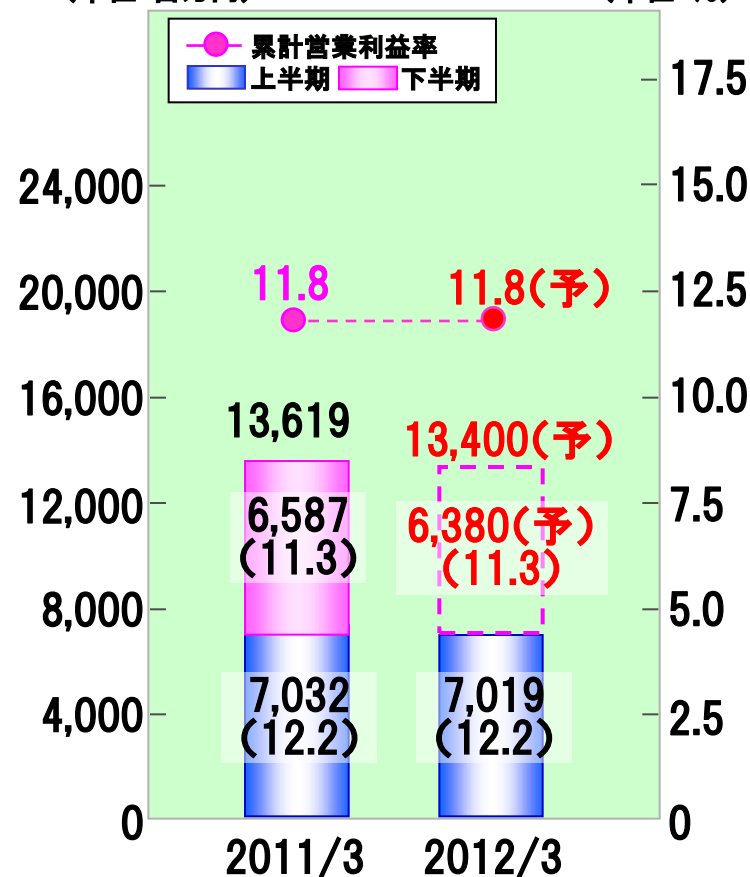


## 営業利益

6ヵ月(4月～9月、10月～3月)

(単位:百万円)

(単位:%)



(単位:百万円)

## クリーングループ

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント売上 ①	57,611	57,317	△293	△0.5
アザレグループ(2社)増加額 ②	—	768	—	—
アザレGを除いた売上 ①-②	57,611	56,549	△1,061	△1.8

※ アザレプロダクツ、共和化粧品工業の化粧品関連2社を前期10月より子会社化

## ➤ビジネスサービス(事業所市場)

依然として経費削減の影響を受ける

- 空間清浄機“デオ”を活用した空間衛生サポートなど、トータルにサポートする「提案型営業」に注力したが、経費削減意識の更なる高まりを受け、前年同期を下回る  
 ダストコントロール商品出荷ベース 前年同期比 約8億円減少(△3.6%)  
 ・マット商品 約6億円減少(△4%)  
 ・エアクリーン商品 約2億円増加(+20%) ※空間清浄機“デオ”売上約3億円
- 事業所市場における役務サービスは依然として低調

## ➤ホームサービス(家庭市場)

新商品効果で前年同期を上回る

- 主力のモップ商品群では、ハンディモップは前年を下回ったものの、フロアモップが増加  
 ダストコントロール商品出荷ベース 前年同期比 約2億円増加(+1.0%)  
 ・モップ商品 約4億円増加(+3%)  
 フロアモップ 約6%増加 (LaLa +9億円)  
 ハンディモップ 約7%減少 (ShuShu +0.1億円)
- 家庭市場における役務サービスは、節電意識の高まりを背景に「エアコンクリーニング」が好調に推移すると共に、他のサービスメニューも前年を上回った(前年同期比+11%)  
 家庭対象のエアコンクリーニング前期比較(お客様売上ベース)  
 ・件数、売上とも 約30%増加

(単位:百万円)

## クリーングループ

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント営業利益 ①	7,032	7,019	△13	△0.2
アザレグループ(2社)増加額 ②	—	94	94	—
アザレGを除いた利益 ①-②	7,032	6,925	△107	△1.5

※ アザレプロダクツ、共和化粧品工業の化粧品関連2社を前期10月より子会社化

➤ 売上減少に伴う営業利益の減少(アザレを除く) 1億円

➤ 原価率上昇に伴う売上総利益の減少(アザレを除く) 6億円

## ● 原価率上昇の主な要因

- ・資材原価(レンタル品) 3億円
  - 新商品(LaLa)投入の増加 (5億円)
  - オーダーメイドマットの投入の増加 (2億円)
  - その他 (△4億円)
- ・商品原価 2億円
  - ヘルスレントの商品原価 (2億円)
- ・加工原価(レンタル品の洗浄・洗濯原価) 1億円
  - 原油価格の変動に伴う影響 (1億円)

➤ 経費率低下に伴う販売費及び一般管理費の減少 6億円

## ● 経費率低下の主な要因

- ・新店舗業務システムの導入費用等の減少 3億円
- ・人件費の減少 2億円

## ■ クリーニンググループ 下半期以降の取り組み

### ➤ ビジネスサービス(事業所市場)

引き続き空間とフロアの衛生サポートに注力し、「提案型営業」の推進強化

- 空間清浄機“デオ”と“オーダーメイドマット”を重点戦略商品として位置付け、「提案型営業」の核商品として訴求
- 企業のコスト削減ニーズに対応した戦略価格マット“パワフルマット”の展開
- 順調に増加している『メンテナンス会員』への衛生関連商品・サービスの提案強化

事業所市場における役務サービスの取り組み

- 作業時間を短縮した新カーペットクリーニングの導入推進

### ➤ ホームサービス(家庭市場)

住まいの快適生活提案“新おそうじスタイル”の一層の訴求により、ダスキンモップによる“おそうじ方法のスタンダード化”の定着を図る

- フロアモップ“LaLa”の訴求と連動してダストクリーナー、収納ケースをセットした掃除機を使わない“新おそうじスタイル”の提案を一層強化
  - ・上期から下期に移行する“LaLa”の広告宣伝費を、個々の地域本部戦略に連動して使用し、“新おそうじスタイル”提案と連動した訴求で新規顧客の拡大と“おそうじ方法のスタンダード化”の定着を図る
- 利用者への謝恩と解約防止策を兼ね、来年1月から使用できる『パスカード(ミスタードーナツ割引カード)』の配布を実施

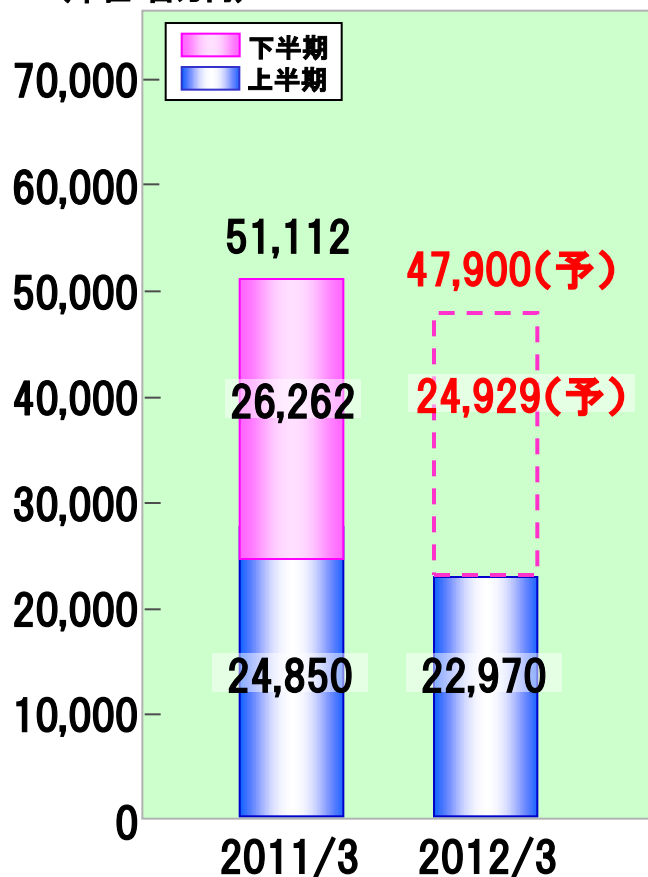
家庭市場における役務サービスの取り組み

- “家事おてつだいサービス”の扱い拠点拡大による売上の拡大
- 年末大掃除キャンペーンの早期実施により受注の集中を回避し、機会ロスの防止

## 売上高

6ヵ月(4月～9月、10月～3月)

(単位:百万円)

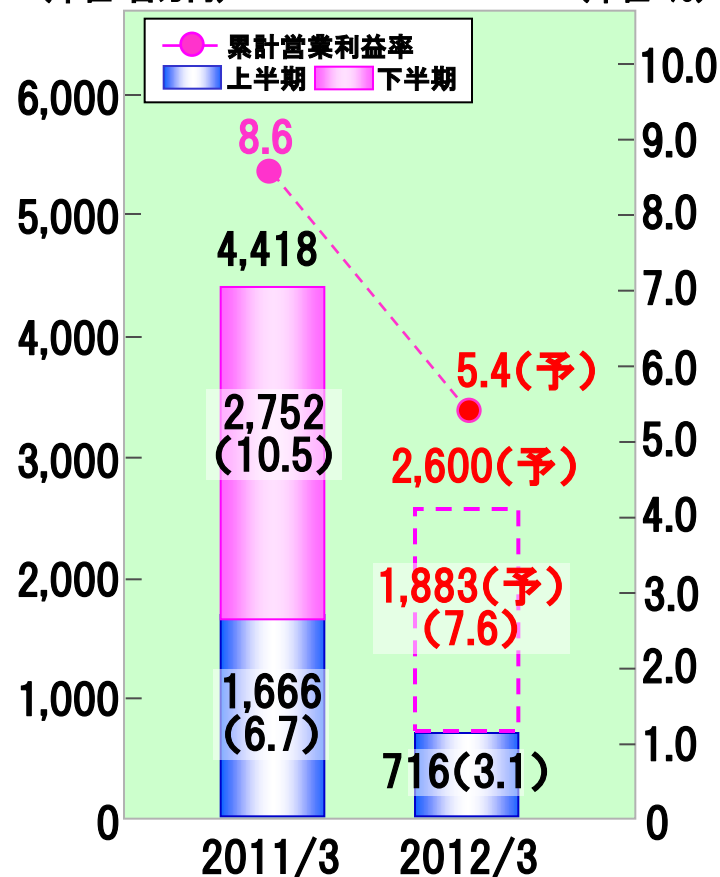


## 営業利益

6ヵ月(4月～9月、10月～3月)

(単位:百万円)

(単位:%)



## フードグループ

(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント売上	24,850	22,970	△1,880	△7.6

➤ フードグループは、主力のミスタードーナツ事業で新たに展開した新商品“焼きドーナツ”の売上が計画数値に届かず、前年同期売上を下回る

- “焼きドーナツ”を5月に全国展開し、さらに夏季限定のドーナツやドリンクの充実を図り夏場対策にも注力したものの、“焼きドーナツ”の目標数値への未達成、加えて東日本大震災による消費マインドの冷え込み等で大きく前年同期売上を下回る

- ・ ドーナツ商品群別『お客様売上』前年同期比較

(単位:億円)	前年同期	今期	増減額	率
ドーナツ商品群	426	369	△57	△13%
オープン商品群	22	56	33	152%
計	448	424	△24	△5%

※ 焼きドーナツはオープン商品群に含まれています

- ・ ミスタードーナツ

## 国内既存店お客様売上

前年同期対比増減率

第1四半期	△5%
第2四半期	△7%
上半期	△6%

- 既存ミスタードーナツブランド及び新業態の両面から積極的な出店による店舗増を目指し、駅構内店舗やモスト2号店等の出店は出来たものの、純増15店舗に留まる

- ・ 業態別店舗数の増減

	標準店舗	小商圏店舗	アンドナンド	和っ花	モスト	計	計画
前期末	1,329	18(0)	6	1	1	1,355	—
9月末時点	1,344	19(1)	4	1	2	1,370	1,388
増減	15	1(1)	△2	0	1	15	33

※( )内はキッチンレス・駅改札前店舗

<b>フードグループ</b>
----------------

(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント営業利益	1,666	716	△949	△57.0

➤ 売上減少に伴う営業利益の減少 1億円

➤ 原価率上昇に伴う売上総利益の減少 7億円

● 原価率上昇の主な要因

- ・原材料原価 2億円
  - オイル類 (1億円)
  - コーヒー (1億円)
- ・原材料の廃棄 3億円

➤ 経费率上昇に伴う販売費及び一般管理費の増加 2億円

● 経費の主な増減要因

- ・販売促進費用の増加 3億円
- ・情報システム経費等の増加 2億円
- ・人件費の減少 2億円
- ・その他経費の減少 1億円

## ■ ミスタードーナツ事業 下半期以降の取り組み

### ➤ 商品導入計画の見直し

- フライドーナツを中心に“手頃感”“バラエティ感”の充実を図る
- クリスマスセット、福袋の展開に“スヌーピー”をイメージキャラクターとして使用し、新鮮さと訴求力アップを図る

モスド商品、クリスマス限定商品の展開によりショーケース内のバラエティ感を訴求

### ➤ セールの追加実施

- 来店頻度のアップ及び売上の底上げを目的にセール回数の増加  
月度1回の計画から月度2回程度の実施に

### ➤ 『ミスドクラブポイントカード』の付加価値向上

- グッズ交換ポイントを引き下げ、ポイント当たりの価値アップを図る
- ポイントカードの魅力及び稼働率アップを図ることにより固定客化を推進する

### ➤ 出店戦略

計画出店数には達していないものの、引き続き都心・新立地に対応する省スペース店舗、低投資型店舗の開発を進める

- 省スペース店舗…キッチンレス店舗、テイクアウト専門店等
- 小商圏店舗……地方都市等



## その他

(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	率(%)
セグメント売上	5,338	5,111	△226	△4.2
セグメント営業利益	40	172	131	327.2

## ➤ 国内では、リース事業の契約内容変更等に伴い売上が減少

- リース事業(ダスキン共益(株))は、機器保守メンテナンス契約の内容変更等に伴い、前年同期の売上を下回るが、営業利益は横這い
- 病院施設のマネジメント事業(株)ダスキンヘルスケア)は、顧客施設は増加したものの、単価の低下から前年同期並みの売上に留まる  
営業利益は前年同期の赤字から黒字に転換

## ➤ 海外の連結子会社3社トータルでは、売上は順調に伸びており、利益に関しても黒字に転換

- 海外連結子会社  
海外子会社3社の内、クリーンサービス上海、資材調達を担うダスキン香港は増収であるが、ミスタードーナツ韓国の売上は微減

## 全社・消去

(単位:百万円)

	前期	当期	増減額	率(%)
営業利益	△3,584	△3,670	△86	—

## 海外事業

注意：前期から海外事業は「その他」の区分に含めております

## ➤ 海外事業の売上推移

事業単位の国及び地域別お客様売上

	国名及び地域 (単位:現地通貨)	2009/9	2010/9	2011/9	前年同期 増減
ダストコントロール 事業	台湾 (千台湾元)	227,608	259,736	296,605	+36,869 (+14.2%)
	上海 (千人民元)	3,676	5,368	6,721	+1,353 (+25.2%)
ミスタードーナツ 事業	台湾 (千台湾元)	355,798	377,711	368,113	△9,598 (△2.5%)
	上海 (千人民元)	8,420	11,626	11,235	△391 (△3.4%)
	韓国 (千ウォン)	7,711,758	11,988,452	11,815,500	△172,952 (△1.4%)

## 海外事業

注意：前期から海外事業は「その他」の区分に含めております

## ➤ミスタードーナツ海外店舗の推移

	前期末 店舗数	9月末 店舗数	増加数
台湾	46	50	4
上海	9	16	7
韓国	82	79	△3
小計	137	145	8

## 2011年8月 マレーシアに1号店を出店

	前期末 店舗数	9月末 店舗数	増加数
タイ	246	260	14
フィリピン	1,807	1,861	54
マレーシア	—	1	1
小計	2,053	2,122	69

※ フィリピンの店舗数にはショーケース等の設置による販売店舗も含まれます



※ マレーシア1号店  
ジャスコ・バンダウタマ店

## ➤ダストコントロール事業、ミスタードーナツ事業の今後の海外展開

ダストコントロール事業

- 韓国への進出を計画

ミスタードーナツ事業

- インドネシア、シンガポールへの出店を検討

# 公表予想との比較 及び 通期業績予想

---



## 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
5/13公表予想	88,900	2,900	3,900	2,200
実績	85,399	4,238	5,332	2,866
乖離額	△3,500	1,338	1,432	666
乖離率(%)	△3.9	46.1	36.7	30.3

## 売上高

- ・ビジネスサービス(事業所市場)は、企業の経費節減意識の一層の高まり等から減収トレンドのまま推移
- ・ホームサービス(家庭市場)は新商品の好調もあり計画を上回る

クリーングループ  
セグメント 約7億円 減少

- ・フードグループセグメントは、東日本大震災による消費マインドの冷え込みや、ミスタードーナツにおける新商品「焼きドーナツ」の目標金額未達成などで計画を大きく下回る

フードグループ  
セグメント 約28億円 減少

## 営業利益

上振れ要因

商品投入の減少及び下期へのズレ

売上原価 約10億円 減少

経費の未使用及び下期へのズレ

経費 約5億円 減少

下振れ要因

売上未達に伴う営業利益への影響  
(売上総利益の減少－経費の減少額)

営業利益 約2億円 減少

## 経常利益

金融収支の上振れ等

営業外収益 約1億円 増加

## 通期業績予想

《2011年10月31日公表数値》

(単位:百万円)

連 結	売上高 (注)	営業利益	経常利益	当期純利益
	2011/3月期前年同期実績	177,320	10,937	12,613
2012/3月期〔5/13〕当初予想	179,200	8,900	10,800	6,200
2012/3月期〔10/31〕修正予想	172,200	8,900	10,800	6,200
10/31時点修正額	△7,000	0	0	0
率(%)	△3.9	0	0	0

(単位:百万円)

個 別	売上高 (注)	営業利益	経常利益	当期純利益
	2011/3月期前年同期実績	155,150	8,256	10,826
2012/3月期〔5/13〕当初予想	157,500	6,800	9,800	5,600
2012/3月期〔10/31〕修正予想	150,500	6,800	9,800	5,600
10/31時点修正額	△7,000	0	0	0
率(%)	△4.4	0	0	0

(注)2011年10月31日に連結・個別とも売上高を7,000百万円下方修正しております。  
利益に関しましては当初予想を据え置いております。

売上・営業利益

(単位:百万円)

		2011/3月期 (実績) 営業利益率(%)		2011/9月期 ①(実績) 営業利益率(%)		下半期 ②-①(予想) 営業利益率(%)		2012/3月期予想 ②(10/31修正) 営業利益率(%)	
クリーン グループ	売上高	115,661	—	57,317	—	56,382	—	113,700	—
	営業利益	13,619	11.8	7,019	12.2	6,380	11.3	13,400	11.8
フード グループ	売上高	51,112	—	22,970	—	24,929	—	47,900	—
	営業利益	4,418	8.6	716	3.1	1,883	7.6	2,600	5.4
その他	売上高	10,546	—	5,111	—	5,488	—	10,600	—
	営業利益	210	2.0	172	3.4	127	2.3	300	2.8
全社・消去	営業利益	△7,312	—	△3,670	—	△3,729	—	△7,400	—
連結合計	売上高	177,320	—	85,399	—	86,800	—	172,200	—
	営業利益	10,937	6.2	4,238	5.0	4,661	5.4	8,900	5.2

# ご参考

---





個別業績

(単位:百万円)

	2010/9月期 実績	2011/9月期 実績	前年同期比		(ご参考) 2011/3月期
			増減(額)	率(%)	
売上高	76,923	74,259	△2,663	△3.5	155,150
営業利益	4,015	2,753	△1,262	△31.4	8,256
売上高営業利益率(%)	(5.2)	(3.7)	(△1.5)	—	(5.3)
経常利益	5,553	5,058	△495	△8.9	10,826
売上高経常利益率(%)	(7.2)	(6.8)	(△0.4)	—	(7.0)
当期純利益	2,587	3,143	+556	+21.5	4,615
売上高当期純利益率(%)	(3.4)	(4.2)	(+0.9)	—	(3.0)

## セグメント別お客様売上高

(単位:百万円)

	2010/9月期		2011/9月期		前年同期比		2011/3月期(参考)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	金額	構成比 (%)
クリーニンググループ	139,252	66.7	137,173	67.6	△2,079	△1.5	279,314	65.8
フードグループ	59,824	28.7	56,396	27.8	△3,427	△5.7	125,061	29.5
その他	9,650	4.6	9,327	4.6	△323	△3.4	19,945	4.7
合計	208,728	100.0	202,897	100.0	△5,830	△2.8	424,322	100.0

(注)ダスキン全国チェーン店お客様売上高(本資料におきましては「お客様売上高」と記載しております)は、国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しております。

## 事業別お客様売上高 前年同期比較(上半期)

(単位:百万円)

	2010/9月期	2011/9月期	前年同期比 率(%)		2011/3月期
<b>クリーニンググループ</b>	<b>139,252</b>	<b>137,173</b>	<b>△2,079</b>	<b>△1.5</b>	<b>279,314</b>
ホームサービス ダストコントロール(国内)	54,348	52,167	△2,180	△4.0	108,477
ビジネスサービス ダストコントロール(国内)	52,381	49,817	△2,563	△4.9	103,604
ケアサービス	20,772	21,634	+861	+4.1	41,987
(サービスマスター)	( 12,186)	( 12,763)	( +576)	( +4.7)	( 24,860)
(メリーメイド)	( 3,903)	( 4,055)	( +152)	( +3.9)	( 8,382)
(ターミニックス)	( 3,779)	( 3,844)	( +64)	( +1.7)	( 6,974)
(トウルグリーン)	( 902)	( 970)	( +67)	( +7.5)	( 1,770)
ヘルス&ビューティ	1,499	1,437	△61	△4.1	2,882
アザレプロダクツ	-	2,182	+2,182	-	2,312
ホームインステッド	1,167	1,113	△54	△4.6	2,235
レントオール	6,880	6,765	△115	△1.7	13,596
ユニフォームサービス	1,623	1,331	△292	△18.0	3,022
ドリンクサービス	579	724	+145	+25.1	1,195
<b>フードグループ</b>	<b>59,824</b>	<b>56,396</b>	<b>△3,427</b>	<b>△5.7</b>	<b>125,061</b>
ミスタードーナツ	57,151	54,010	△3,140	△5.5	119,890
フードチェーン	1,371	1,337	△34	△2.5	2,745
どん	1,301	1,049	△252	△19.4	2,425
<b>その他</b>	<b>9,650</b>	<b>9,327</b>	<b>△323</b>	<b>△3.4</b>	<b>19,945</b>
ダストコントロール(海外)	762	827	+64	+8.5	1,642
ミスタードーナツ(海外)	5,472	5,086	△386	△7.1	11,493
ダスキんヘルスケア	3,415	3,413	△1	△0.1	6,809
<b>合 計</b>	<b>208,728</b>	<b>202,897</b>	<b>△5,830</b>	<b>△2.8</b>	<b>424,322</b>

## 新セグメント別の事業概要

2011年3月期連結：売上高1,773億円、営業利益109億円

### クリーニンググループ

売上高	1,157億円
営業利益	136億円

※売上は、①加盟店へのレンタル・商品売上、資器材・薬剤売上等  
②ロイヤルティ  
(ダストコントロール事業に関してはロイヤルティなし)  
③直営店売上

#### ホームサービス

#### ビジネスサービス

#### ダストコントロール事業

モップ、マット等のダストコントロール商品をはじめ、レンジフードフィルターや浄水器、空気清浄機、化粧室まわり商品等、暮らしやビジネス環境を快適にする商品群を提供

#### ケアサービス

ハウスクリーニング、家事代行サービス、害虫獣害除サービス、庭木のお手入れサービスを提供

#### ヘルス&ビューティ、他

化粧品や健康食品の販売

#### ホームインステッド

高齢者生活支援サービス

#### レントオール

日用品・介護用品のレンタル

#### ユニフォームサービス

レンタル及びクリーニング

#### ドリンクサービス

飲料水、コーヒーの販売

### フードグループ

売上高	511億円
営業利益	44億円

※売上は、①加盟店への原材料売上  
②ロイヤルティ  
③直営店売上

#### ミスタードーナツ

手づくりのフレッシュなドーナツを提供するドーナツ専門店を展開  
(アンドナンド、MOSDO、和っ花を含む)

#### フードチェーン

かつ専門店「かつアンドかつ」、カフェ「カフェデュモンド」、スティック型ケーキの販売「スティック・スイーツ・ファクトリー」を展開

#### (株)どん

海鮮丼を中心に新鮮な海の幸や旬の素材を使った丼等を提供

### その他

売上高	105億円
営業利益	2億円

※売上は、①直営店売上  
②ロイヤルティ  
③原材料売上

#### (株)ダスキンヘルスケア

病院施設のマネジメントサービス等

#### ダスキン共益(株)

リース事業

ダスキン保険サービス株式会社

#### 海外事業・その他

ダストコントロール事業及びミスタードーナツの海外展開、ダスキン香港

※概要図は2011年4月1日時点イメージしています。

## フランチャイズ展開

※2011年4月1日時点

### クリーニンググループ

#### ホームサービス

- ・モップ、マット等の定期訪問レンタル
  - ダストコントロール…… 家庭用 モップ、マット等
  - エアークリーン……… 家庭用 空気清浄機
  - ウォータークリーン…… 家庭用 浄水器
- ・ケアサービス
  - サービスマスター……… ハウスクリーニング
  - メリーメイド……… 家事代行
  - ターミニックス……… 家庭用 害虫獣駆除・予防
  - トウルグリーン……… 庭木の手入れ

#### ビジネスサービス

- ・モップ、マット等の定期訪問レンタル
  - ダストコントロール……… 事業所用 モップ、マット等
  - クリーンサービス……… 事業所用 トイレ・洗面所関連商品  
キャビネットタオル等
  - エアークリーン……… 事業所用 空気清浄機
  - ウォータークリーン……… 事業所用 浄水器
  - ワイプフルサービス……… レンタルウエス
- ・ケアサービス
  - サービスマスター……… プロの清掃サービス
  - ターミニックス……… 事業所用 害虫獣駆除・予防

- ・ヘルス&ビューティ、他…… 自然派化粧品、健康食品
- ・ホームインステッド……… 高齢者生活支援サービス
- ・レントオール……… イベント用品等のレンタルや介護用品のレンタル及び販売
- ・ユニフォームサービス……… ユニフォームのレンタル及びクリーニング
- ・ドリンクサービス……… ボトルドウォーター、オフィスコーヒー等の販売

### フードグループ

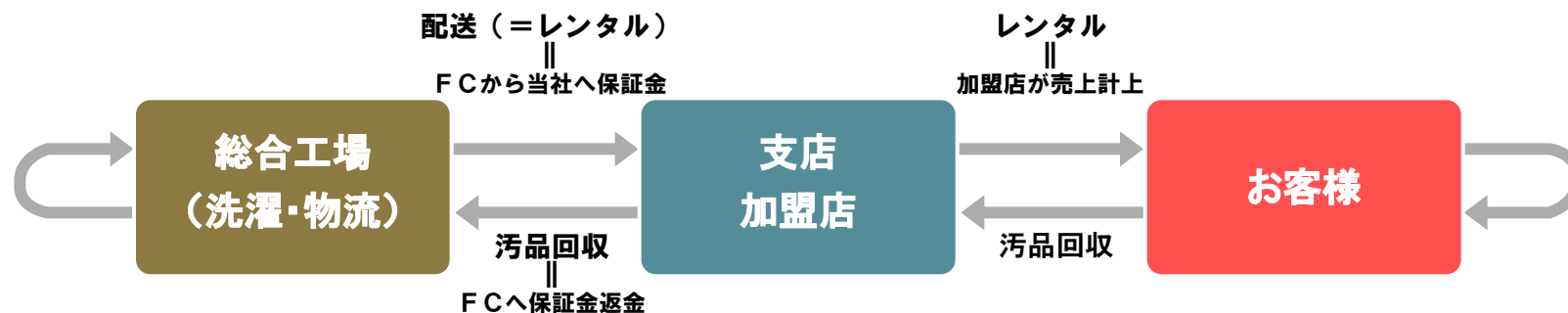
- ・ミスタードーナツ……… ミスタードーナツ  
アンドナンド  
MOSDO  
和っ花
- ・フードチェーン
  - カフェデュモンド……… カフェオレとベニエ
  - かつアンドかつ……… とんかつレストラン
  - スティック・スイーツ・ファクトリー  
…………… スティック型ケーキショップ
- ・ザ・どん …………… 海鮮どんぶり

### その他

- ・主としてFC加盟店へのサービス(販売)
  - ダスキん共益……… リース事業
  - ダスキん保険サービス… 保険代理事業
- ・ダスキんヘルスケア……… 病院のマネジメント  
サービス等
- ・海外事業………  
ダストコントロール事業、ミスタードーナツの海外  
展開及びダスキん香港

## モップ・マット等のレンタル

商品を繰り返し使い、寿命が尽きるまで使い切るという発想が根幹



直営及び子会社 協力会社	14工場 33工場	直営及び子会社支店 FC拠点	78店 約2,100拠点	訪問販売員	約75,000人	家庭市場の お客様	約550万軒	事業所市場の お客様	約130万軒
合計	47工場	営業拠点	約2,200拠点						

### ①全国を網羅する充実した生産・販売体制

- この資源循環型ビジネスモデルを全国規模で確立するには、工場体制の整備、レンタル用商品の資材購入に多額の投資が必要であり、加えて全国的な訪問販売員の組織構築に時間と費用を要するため、競争は少ない。

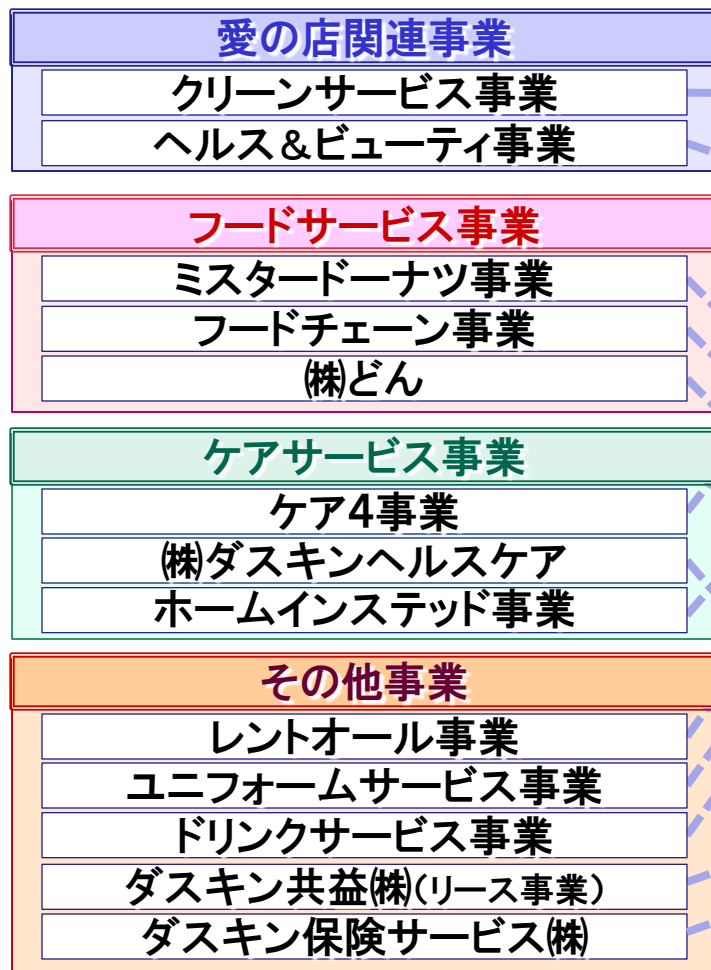
### ②強固な顧客基盤

- 対面販売できる広範な顧客基盤を有している点が強み。特に家庭市場における顧客基盤が強固である。

## セグメント区分の変更

2011年3月期〔前期〕よりセグメント変更を行っています

### 2010年3月期までのセグメント



### 2011年3月期からのセグメント

